

# ドパミンシンチ検査を受けられる方へ

## ドパミンシンチについて

- ・脳に集まる放射性医薬品を注射し、脳の機能を観察する検査です。

## 被ばくについて

- ・使用する放射性医薬品は微量で速やかに排泄されますので、放射線被ばくによる影響は極めて低いです。医師の判断の下、検査の必要性が被ばくのリスクを十分に上回ると考えられる場合にのみ検査を行います。
- ・当院では医療被ばくガイドラインをもとに線量管理を行い、放射線による被ばくを必要最小限になるように努めています。

## 検査所要時間

- ・放射性医薬品の注射後 3～4 時間後に撮影を行います。撮影時間は 30 分程度です。
- ・待ち時間を含めて 5 時間程かかります。

## 検査前の注意事項

- ・食事・飲水の制限はございません。
- ・検査結果に影響を及ぼす可能性がありますので、レセルピン又は三環系抗うつ薬の休薬が必要です。(必ず主治医にご相談ください)
- ・検査に使用する放射性医薬品には微量なアルコールを含んでいますので、アルコールに過敏な方、その他過敏性の既往歴のある方は事前にお知らせください。

## 検査の流れ

1. 点滴を取ります。その後、点滴より放射性医薬品を入れていきます。注入時に血管痛が出ることもあります。ゆっくりと注入しますので、症状が出た際はお知らせください
2. 注射後は薬が集積するまで 3～4 時間ほど間隔を開けます。待ち時間はお食事など、ご自由にお過ごしください。
3. 撮影前にトイレを済ませておいてください。撮影時間は 30 分程度かかります。
4. 頭部や顔につけている金属類は全て外し、検査台へ仰向けに寝た状態で、アイマスクをします。
5. 検査中は頭を動かさないでください。閉所恐怖症の方は事前にお申し出ください。  
検査中に気分がすぐれない場合、近くの診療放射線技師にお知らせください。

## 検査が終わったら

- ・検査後に気分が悪いときは我慢せずに、近くの医療スタッフにお知らせください。
- ※その他、検査に関してご不明な点がございましたら放射線科へお問い合わせください。